

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	移住者によるまちなか居住推進モデル作り事業
対象地域	大分県別府市
対象地域の概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【大分県別府市】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【移住者 NPO によるまちなか拠点調査】</p> </div> </div>
提案内容の概要	<p>移住者の高いまちなか居住ニーズと提供物件不足のミスマッチを埋める取り組みとしての「わくわく住み友バンク」事業。移住者がまちなかに求める文化・交流拠点機能を強化する「ベップユケムリ大学」事業。それらの活動の情報提供を統合的に行うサービス「ベップウオーカー」事業によりまちなかの交流・居住人口増を目指す。</p>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	<p>1) 中心街コミュニティの疲弊 中心街では急速に人口の減少と高齢化率の上昇が起こっており、コミュニティの活力の低下が危惧されている。</p> <p>2) 移住者の居住ニーズに答えられない物件不足 H20 年度の調査（アンケート+物件調査）において、別府への移住希望者の約半数がまちなかへの居住を希望しているが、物件の提供数が少なく、移住者の期待に答え切れていない事が判明した。 この課題を解決できれば、まちなか居住人口は増えると考え。</p>
(2) 活動内容の案	<p>活動①：情報収集+発信 「わくわく住み友バンク」事業</p> <p>内容： 現状行われている、移住希望者への情報提供サービス「わくわくらくだ」の中で、まちなか居住を希望している移住者が希望する物件情報や地域などを登録して不動産事業者など向けに公開するサービスを開始する。情報の公開により、不動産事業者などの居住物件の提供を活発化し、結果としてまちなか居住を推進する。 サービスはウェブサイトを通じて提供する。</p> <p>活動②：交流促進+生涯教育 「ベップユケムリ大学」事業</p> <p>内容： 別府のまちなか全体が交流サロン・文化発信拠点となるような事業を行う。「ベップユケムリ大学」と銘打って、移住者・学生・地域住民・外部来訪者などの多彩なメンバーが講師であり、生徒になっていくような自由な学びあいコミュニティを創出する。この事業はメンバーシップで行われ、移住者らを含む多彩なコミュニティ形成の核的な取り組みとして、地域の自治会、NPO、大学、まちづくり組織などとの幅広い連携の下で推進される。 具体的には、移住者が持つ経験や知識を活かしての体験型授業、別府に来訪するアーティストなどの講座、近隣の里山での農村体験、大学の出前講座、お坊さんの講座、など多彩なコミュニティの交流促進と移住者の知りたい生活情報の提供などを楽しく自由で開かれた環境下での取組とする。運営は移住者らを多く交えて移住者のニーズにマッチする取組とする。</p> <p>開校は9月とし、開催頻度は毎週第3土曜日、1日に2講座を平均とし、事業期間中は5か月間・延べ10種類の講座の実施を通じた交流促進事業の展開を目標とする。</p> <p>活動③：ウェブサイトによる情報提供 「ベップウオーカー」事業</p>

	<p>内容：提案者が運営しているウェブサイト「ベップウオーカー」に移住者用のコーナーを設置して、上記活動①および②を始めとする移住者支援の為のウェブサイトを作成し、情報の提供を行う。交流事業などの情報提供を行う為のメールマガジンの発行などを定期的実施する。</p>
応募団体名	特定非営利活動法人別府八湯トラスト ・ 特定非営利活動法人セカンドライフ倶楽部
リンク	http://homepage3.nifty.com/hatto-kk/trust/
部局／担当者名	事務局／野上泰生
連絡先	090-4994-4847 yasuo@yukemuri.net
推薦市町村名	大分県別府市